

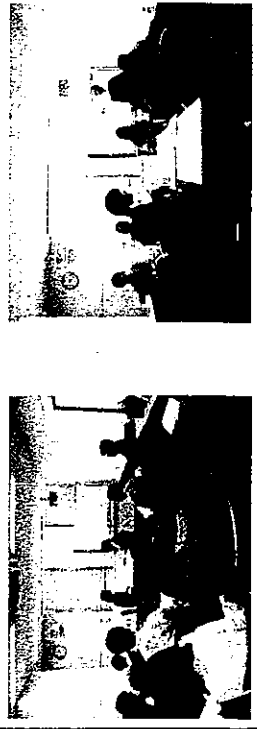
**2018 年度 事業活動報告書**

**NPO 法人 CaPSAY**

2018 年度事業活動報告

(2) 20180519 キャリアコンサルタント勉強会

特定非営利活動の種別	社会教育の推進を図る活動
特定非営利活動の事業	キャリアコンサルタントの養成および認証の事業
実施主体	NPO 法人 CaPSAY
日時	2018年5月19日(土) 14:00~16:30
場所	「ひと・まち交流館京都」2階 ミーティングルーム1
参加者	講師：八阪義浩(国家資格・1級キャリアコンサルタント技能士) アシリテーター：樋口秀一(NPO法人CaPSAY副理事長) 参加者：各大学、ハローワーク相談員、社労士(取得者)11名
活動の内容	今より上質の支援を目指して、アマチュアではなくプロのコンサルタントに求められることは何かを追求している。今回は、プロの支援者としての要件、目指すべき到達点を構造的に意識して、実際に就職活動中のクライアントと支援の現場に携わるコンサルタントによる面談を体験。その場面を参加者が観察し、講師が検証した。
備考	売り手市場の追い風を受けて就職決定率は高水準ですが、安易な進路決定は早期離職の傾向がある。クライアントだけに問題があるのか。経済や社会、大学にも目を向ける必要があるが、コンサルタントが自分の勘と経験と思い込みで「指導」しているのではない。
事業活動の取支	講師謝礼 10,000円支払
事業の成果・課題	キャリアコンサルタントにおける面接を構造的に検証。面接のやりとりを、関係構築、問題把握(クライアントが気づいている問題、気づいていない問題)、具体的展開(問題提示、方策検討、実行支援)に分けて記録。その結果から、クライアントをどうとらえているか、質問に明確な意図があるか、クライアント役が実際に就職活動をしている学生であり、ロールプレイに真実味と緊張感があった。参加者からの意見として、継続してこうしたロールプレイを実施してほしい、フレームワークは分かりやすい、(コンサル役を担当して)自分では気づけないことが沢山あった、など。課題としては、このように自分の仕事(面談)を点検できる機会はまだ少ない。参加者からの要望もあり、実施を継続したいが、経験と実績がある指導者が圧倒的に不足している。参加者の中には1級キャリアコンサルタント技能士をを目指す人がいる。この勉強会からそうした人材を輩出できるように、実務に即した技量を高めるセミナーをこれからも企画する。



(1) 20180417 デリバリーキャリア講座

特定非営利活動の種別	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動・社会教育の推進を図る活動
特定非営利活動の事業	キャリア形成支援プログラム、いわゆるキャリア教育の事業
実施主体	神戸女子大学
日時	2018年4月17日(火) 第2講時
場所	神戸女子大学(ポートアイランド・キャンパス)
参加者	講師：五十川。学生78名
活動の内容	松崎喜良教授の担当科目で講義名は「就職支援サービス」。他康福祉学部の授業の一環で、将来、社会福祉士としてケースワーカーやケア・マネージャー等の就職支援者としてクライアントや企業との関係をどう構築していくかについての視点からの講義。講義のテーマは『現代社会の労働市場と労働法規一労働者の就業状況、労働法規の現状一』。学生は近い将来『就職支援者』としてどう関わるかといった視点からの学びであると同時に、自らも就職活動時期ということもあり、自分の問題としての企業研究とわりわけ『ブラック企業』に対する関心が深かった。全体に、大変熱心に授業に取り組んでいた。
備考	アンケートでは、「かなり理解が深まった」「ある程度理解が深まった」合計で97%、CaPSAY に対しては、「困ったことがあれば相談したい」81%、自由記述でも記述者が約54名で、ポジティブな反応であったり、理解できてよかったといった意見や謝意など、殆どが肯定的であった。
事業活動の取支	NPO法人CaPSAYとして講義を受託し、委託費として23,000円。五十川理事長に謝金として16,000円(80%)と交通費(実費分)支払。
事業の成果・課題	支援者としてクライアントや企業とどう関わっていくのかという問題と、受講者が学生であり、殆どが社会人経験無しという状況で、自分の問題としての企業研究とわりわけ『ブラック企業』の理解と関わり方という、学生の興味や知りたいニーズにマッチした講義ができたと思う。また、単にブラック企業というネガティブな視点だけでなく、『人間らしく、働きがいがあり自分らしい生き方をする一ディーセント・ワーク』といった視点からの考え方にとっても理解が深まったという感想が一定見られた。 松崎教授の感想としては、学生の関心にマッチしており、実際のケースや対応についても分かり易かったとのことである。

(3) 20180604 デリバリーキャリア講座

特定非営利活動の種別	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動・社会教育の推進を図る活動
特定非営利活動の事業	キャリア形成支援プログラム、いわゆるキャリア教育の事業
実施主体	立命館大学経済学部、社会政策（担当：高野剛准教授）でのCaPSAYの授業
日時	2018年6月4日（月） 第4講時
場所	立命館大学（BKC）C101教室
参加者	講師：五十川、高野准教授。学生216名
活動の内容	高野剛准教授の担当授業で科目は「社会政策」。ゲスト講義のテーマは「自分らしく生きるために一労働者の就労状況、労働法規の概要理解」。スピーチのコメントは1.はじめに…ホットな話題⇒「裁量労働制」「高プロ」が強行採決、2.話題その2⇒「生活困窮者自立支援」のしくみ、3.『ブラック企業』論、『ブラック企業』とは、4.事例でみる『ブラック企業』、5.『ブラック企業』の見分け方、関わり方（以上40分）、6.『就労支援サービス』としての自分らしい働き方、6.質疑応答（以上20分）、7.京都府と滋賀県の労働基準監督官からのススペシヤル・トークの後質疑応答・まとめ・授業アンケート（以上30分）。 学生は3・4回生で就労が終了あるいは間もなく就活という転機にあり、ブラック企業の説明と社会的背景と、一方で自分らしく働くこととそんな会社の探し方を主に講義した。全体に学生は自分自身の問題としても切実で、真剣に考えて受講していた。労働基準監督官のススペシヤルトークにも関心は高かった。
備考	アンケート結果では、ブラック企業について「理解がかなり深まった」「まあまあ深まった」が92%で、自分らしく働く会社のイメージは「かなり深まった」「深まった」が68%でともに講義の理解度は高かった。ブラック企業が話題になっており非常に関心が高い一方で、これからの自分の生き方、働き方に対しては具体的にイメージするのが難しく、「自分が何をして（就職）いいか分からない」「とありえず大手有名企業に」といった傾向が見られる。
事業活動の収支	無償
事業の成果・課題	学生らが、少しでも自分らしく生き、就活し、キャリアを形成して欲しい。3回生は就活が始まるが、自己分析ではなく自己理解の視点を持ち『自虐的な』『自己分析』に陥らず、自己肯定感を自らも高められるように、若者たちと接していきたい。

(4) 20181101 留学生のキャリア形成支援

特定非営利活動の種別	国際協力の活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
特定非営利活動の事業	立命館大学経営研究科外国人留学生のための企業交流会（ワークショップ）
実施主体	立命館大学経営研究科の自主企画、NPO法人 CapSAY（協賛）
日時	2018年11月1日（木）18：00～19：40
場所	立命館大学 経営研究科教室
参加者	・ジェニックス株式会社、上念植彦管理部長、陳慧博さん（シンガポール） ・立命館大学経営研究科 外国人留学生5名 ・CaPSAY：蒞、
活動の内容	スケジュール 1) 講師 ジェニックス株式会社社長・上念管理部長 ① 会社の説明を山本社長が中国語で説明 ② 日本（東京）、中国（上海）、タイ、シンガポール4拠点の位置づけ ③ 自社工場を持たない運営方法について ④ 海外でビジネスしていく上で大切にしていること ・自分で考え返事したことに責任を持つ 2) シンガポールで勤務している陳慧博さんとスマホでつなぎ、学生全員と会話 ① シンガポールでどんな仕事をしているのか ② 4拠点のTV会議の状況（英語でのやり取りについて等）
備考	
事業活動の収支	
事業の成果・課題	1) 学生にとつてこの時期、企業の方と直接話せる機会は、貴重な経験なので、できるだけ、いろいろな企業と直接話を聞き、直接質問することで日本企業理解を深めるといふ点では役に立ったと思う 2) ジェニックスは日本人が上海でITのベンチャー企業を立ち上げ、これから発展するアジア市場で自社工場を持たない企業として学生に紹介 ・2年前に先輩も就職しており、海外で働くとは、どんな働き方なのかを具体的に本人から聞いたことは、大変有意義だったと思う。 3) 就活の仕方がわからないため、どうしても自先の課題を優先させ自分から積極的に参加する意識が低い。

(5) 20181108 留学生のキャリア形成支援

特定非営利活動の種類	国際協力の活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
特定非営利活動の事業	立命館大学経営研究科外国人留学生のための企業交流会(ワークショップ)
実施主体	立命館大学経営研究科の自主企画、NPO法人 CapSAY(協賛)
日時	2018年11月8日(木) 18:00~19:40
場所	立命館大学 経営研究科教室
参加者	・マクセル(株) 人事総務部 課長 瀬戸 靖伸氏 ・立命館大学経営研究科 外国人留学生 7日名 ・CapSAY: 蒞、樋口
活動の内容	スケジュール 3) 講師 瀬戸 靖伸課長 ・会社の説明 ・日立製作所から独立し独自経営に乗りだす。 ・自動車関連・住宅関連・人にかかわる事業を柱に展開 ・海外戦略について: これから成長が著しいアジア市場を重点に展開 ・2020年2000億円計画 経常利益88億円 4) 質疑応答 ・特に面接対策についての質問が多かった。 ・海外戦略についての質問
備考	
事業活動の取支	
事業の成果・課題	4) 学生にとっってこの時期、企業の方と直接話せる機会は、貴重な経験なので、できるだけ、いろいろな企業と直接話を聞き、直接質問することで日本企業理解を深めるといふ点では役に立ったと思う 5) 今年の採用計画では、33名の内定を出したが8名の辞退者が出て、今までの流れが変わったことを力説されていた。 6) 今後海外の売上比率を増やしていくために留学生の採用は増やしたい意向 7)

(6) 20181115 留学生のキャリア形成支援

特定非営利活動の種類	国際協力の活動、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
特定非営利活動の事業	大学のための外国人留学生支援勉強会
実施主体	立命館大学経営研究科の自主企画、NPO法人 CapSAY(協賛)
日時	2018年11月15日(木) 18:00~19:40
場所	立命館大学 経営研究科教室
参加者	・京セラコミュニケーションシステム(株) 人事総務部 井上 麻衣子氏 ・立命館大学経営研究科M1 外国人留学生5名 ・CapSAY: 蒞、樋口
講師	スケジュール 1) 講師 井上 麻衣子氏 ・今年の内定者(立命館大学経営研究科00)が参加する予定だったが、体調不良で来れなくなった。 2) 会社の説明 ・会社の経営理念: 「京セラヒロゾフイ: 人として何が正しいか」 「アメンバー経営: 全員参加の経営」の徹底 ・アメンバー経営3つの目的: ① marketing に託した部門別採算制度の確立 ② ②経営者意識を持つ人材の育成 ③ ③全員参加の経営の実現 ・アメンバー経営とは: ① 「現場の知恵を引き出し、社員のやる気を喚起させる人の心をベースにした経営システム ② 経営コンサルティングとは、一言でいうと「良い会社」を創る仕事 2) 質疑応答 ・特に面接対策についての質問が多かった。 ・海外戦略についての質問 講師の井上氏が26歳で若かったため、聞きやすかったのか具体的な内容が多かった。 内定者が出ていることもあり、好意的に取り組んでいただいている様子が実感として伝わってきた。
活動の内容	
学生の評価	
企業の評価	
事業活動の取支	
事業の成果・課題	1) 学生の自主企画形式で、1社の企業人担当者と膝を突き合わせる時間話し合える機会を作り、学生には早期に就職活動の意識付けができたと思う 2) 今までは、講師の私が企業情報を間接的に伝えて頭では理解してきたが、企業の人事担当者と直接会うことで、体で理解することができたと思う 3) 一つの大学で行う事は、その大学の学生は多く集めることができる代わりに、他の大学の学生が参加できない弊害を、今後どのように解消していくが課題

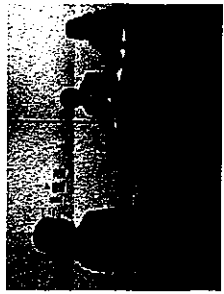
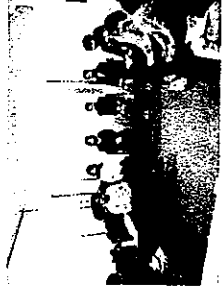
(7) 20190120 キャリアコンサルタント勉強会

特定非営利活動の種類	社会教育の推進を図る活動		
特定非営利活動の事業	キャリアコンサルタントの養成および認証の事業		
実施主体	NPO法人 CaPSAY		
日時	2019年1月20日(日)	14:00~16:30	
場所	ひと・まち交流館京都 2階 ミーティングルーム1		
参加者	講師: 上田修三氏、ハム・ジョン氏 ファンティーター: 樋口秀一		
活動の内容	参加者: 15名(各大学のキャリアカウンセラー、ハローワーク相談員、社労士資格取得者) 留学生支援に求められる実務力を高めるために講演とグループ懇願を実施。 留学生支援に詳しいコンサルタントから入管法改正のポイント、留学生の現状と支援事例、課題などを学ぶ。また元留学生で人材サービス会社に勤務する立場から、留学生気質、企業が留学生に求めることなど現状を聞いた。その後の懇談会では講演者を交えて参加者と意見交換。		
備考	京都市の外国人留学生は年々増加の一途にあり、約8500名が大学に在籍しています(平成29年度)。その半数近くが日本での就職を希望。支援の現場では特定の専門家だけでなく、キャリアコンサルタント全般に留学生対応の実務力が求められる。		
事業活動の収支	講師謝礼: ひとり10,000円×2名=20,000円支払		
事業の成果・課題	外国人留学生に日本就職で伝えるべきこと、留学生の日本での就職活動における行動・志向などを知ることが出来た。採用側が終身雇用を前提としている今の人事方針では彼らのライフプランに合わないことが多い。参加者から留学生の就活についてもっとと具体的な事例を聞きたいという要望があった。継続を検討する。		



(8) 20190216 キャリアコンサルタント勉強会

特定非営利活動の種類	社会教育の推進を図る活動		
特定非営利活動の事業	キャリアコンサルタントの養成および認証の事業		
実施主体	NPO法人 CaPSAY		
日時	2019年2月16日(土)	14:00~16:30	
場所	ひと・まち交流館京都 2階 ミーティングルーム3		
参加者	参加者 講師: 西村製作所 岡田則之常務取締役、カウンセラ-11名(ハローワーク、立命、花園、関西外大、大谷、看護師、社労士)、大学生2名		
活動の内容	若者のキャリア支援における実務力の向上を目的に勉強会を開催した。大学やハローワークで若者の就職支援に携わるキャリアカウンセラーが主に集まった。今回のテーマは「面接」。学生からの相談が多い内容だが、組織で採用面接の経験がないカウンセラーが多いことから、実際の面接場面を見学して、現場の支援業務に生かす。企業で実際に採用に携わる方をお招きして、学生を相手に面接を実演した。どのような質問をして、何を見定めるのかを知る。 当日のプログラム: 事前レクチャー、模擬面接2回、振り返り、懇談		
備考	面接官の視点を知ることが出来た。質問のバリエーションが増えた。仕事や人間関係に対する考え方を問う質問は参考になった。想定外の質問は臨機応変に対応できるかどうかだけでなく、その後の態度に影響するかどうかを見ている。など。支援の現場での面接対策に実効性のある情報が増えた。これまでの企業の採用担当者による面接の実演では、過去の行動から将来を予測する手法を学び、今回は企業と学生の感覚を重視するやり方を学んだ。 採用担当者からの意見 当社はスリッター装置製造ではシェアナンバーワン。老舗で離職率はとても低いが、学生は知らない。リクナビやマイナビではなく大学キャリアセンターとのつながりを重視。採用人数が少ない(2名)ので辞退されたらショックだ。面接の実演には、これから就職活動に挑む学生の協力を得た。本人たちから参考になったとの意見があった。 今後も企業を招いて採用面接手法を知ることがも継続するが、学生の成長の機会にもなることから、カウンセラーの勉強だけではなく、若者のキャリア形成につながるのであれば、学生の参加を募りたいと思う。		



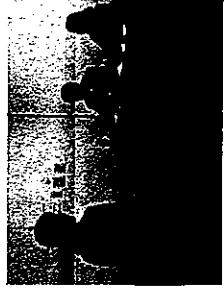
(7) 20190120 キャリココンサルタント勉強会

特定非営利活動の種別	社会教育の推進を図る活動
特定非営利活動の事業	キャリアコンサルタントの養成および認証の事業
実施主体	NPO法人 CaPSAY
日 時	2019年1月20日(日) 14:00~16:30
場 所	ひと・まち交流館京都 2階 ミーティングルーム1
参加者	講師：上田修三氏、ハム・ジョン氏 ファシリテーター：樋口秀一 参加者：15名(各大学のキャリアカウンセラー、ハローワーク相談員、社労士資格取得者)
活動の内容	留学生支援に求められる実務力を高めるために講演とグループ懇談を実施。 留学生支援に詳しいコンサルタントから入管法改正のポイント、留学生の現状と支援事例、課題などを学ぶ。また元留学生で人材サービス会社に勤務する立場から、留学生気質、企業が留学生に求めることなど現状を聞いた。その後の懇談会では講演者を変えて参加者と意見交換。
備 考	京都府の外国人留学生は年々増加の一途にあり、約8500名が大学に在籍しています(平成29年度)。その半数近くが日本での就職を希望。支援の現場では特定の専門家だけでなく、キャリアコンサルタント全般に留学生対応の実務力が求められる。
事業活動の収支	講師謝礼：ひとり10,000円×2名=20,000円支払
事業の成果・課題	外国人留学生在に日本就職で伝えるべきこと、留学生の日本での就職活動における行動・志向などを知らせることが出来た。採用側が終身雇用を前提としている今の人事方針では彼らのライフプランに合わないことが多い。参加者から留学生の就活についてもっとと具体的な事例を聞きたいという要望があった。続編を検討する。



(8) 20190216 キャリココンサルタント勉強会

特定非営利活動の種別	社会教育の推進を図る活動
特定非営利活動の事業	キャリアコンサルタントの養成および認証の事業
実施主体	NPO法人 CaPSAY
日 時	2019年2月16日(土) 14:00~16:30
場 所	ひと・まち交流館京都 2階 ミーティングルーム3
参加者	参加者 講師：西村製作所 岡田則之 常務取締役、カウンセラー11名(ハローワーク、立命、花園、関西外大、大谷、看護師、社労士)、大学生2名
活動の内容	若者のキャリア支援における実務力の向上を目的に勉強会を開催した。大学やハローワークで若者の就職支援に携わるキャリアカウンセラーが主に集まった。今回のテーマは「面接」。学生からの相談で多い内容だが、組織で採用面接の経験がないカウンセラーが多いことから、実際の面接場面を見学して、現場の支援業務に生かす。企業で実際に採用に携わる方をお招きして、学生を相手に面接を実施した。どのような質問をして、何を見定めるのかを知る。
備 考	当日のプログラム：事前レクチャー、模擬面接2回、振り返り、懇談 面接官の視点を知らることが出来た。質問のバリエーションが増えた。仕事や人間関係に対する考え方を問う質問は参考になった。想定外の質問は臨機応変に対応できるだけでなく、その後の態度に影響するか否かを見ている。など。支援の現場での面接対策に実効性のある情報が得られた。これまでの企業の採用担当者による面接の実演では、過去の行動から将来を予測する手法を学んじ、今回は企業と学生の感覚を重視するやり方を学んだ。 採用担当者からの意見 当社はスリッター装置製造ではシェアナンバーワン。老舗で離職率はとても低い。学生は知らない。リクナビやマイナビではなく大学キャリアセンターとのつながりを重視。採用人数が少ない(2名)ので辞退されたらシロクダ。 面接の実演には、これから就職活動に携わる学生の協力を得た。本人たちから参考になったとの意見があった。 今後も企業を招いて採用面接手法を知ることが継続するが、学生の成長の機会にもなることから、カウンセラーの勉強だけではなく、若者のキャリア形成につながるであらば、学生の参加を募りたいと思う。



(9)相談記録

(10)2018年度外国人留学生個別相談一覧表

日時	時間	場所	大学	相談内容
5月27日(日)	11:00~13:30	京都駅レストラン	立命館大学OB	東京より京都帰省(大学相談会参加)
5月27日(日)	16:00~19:30	新阪急ホテルバイキング	立命館大学OB	薬天・(NIIT)にコミ動務)仕事悩み相談
5月29日(火)	19:00~21:00	京都駅レストラン	立命館大学OB	転職相談
8月22日(水)	18:30~21:00	神戸レストラン	立命館大学OB	企業訪問後勤務環境確認
8月29日(水)	16:30~18:30	コンフォート棟	立命館大学OB	業務応援の打ち合わせ
9月19日(水)	18:30~21:00	新阪急ホテルバイキング	立命館大学OB	仕事悩み相談
9月20日(木)	18:00~20:00	大阪レストラン	立命館大学OB	転職相談
11月17日(土)	13:00~16:00	京都グランピア喫茶室	立命館大学OB	仕事悩み相談
11月21日(水)	19:00~21:30	阪急百貨店レストラン	立命館大学OB	シンガポールより帰国(職場環境確認)
12月4日(火)	19:00~21:00	阪急百貨店レストラン	武庫川女子大OB	職場環境確認
12月30日(土)	19:00~21:30	京都駅レストラン	立命館大学OB	東京より京都帰省
1月10日(木)	18:00~21:00	茨木市焼き肉店	立命館大学経営研究科	新年会

※現在と現在OD : 1...高校生、2...専門学校生、3...大学生、4...大学院生、5...職卒(就業)、6...職卒(無業)

※相談内容OD : 1...就活(ES、面接、自己理解等)、2...進路(就職、転職、進級)、3...企業研究(選考、インターンシップ)、4...労働環境、5...その他、6...カウンセリング

年月日	年齢	現在	現在OD	相談内容	相談内容・記録
20180426	26	4大	3	1	一職卒を以てして就職希望、その後のキャリアアップは希望しているが、大学で学んだ分野から就職先を探している。自己理解のポイントを話し、ESも書き直して面接に臨むようにアドバイスをした。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。
20180509	26	4大	3	1	ES、履歴書、本人の得意分野について「得意分野」を伸ばす「良いイメージ」を出す。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。
201806060	26	4大	3	1	ES、履歴書、本人の得意分野について「得意分野」を伸ばす「良いイメージ」を出す。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。
20180901	28	就業	5	2	ES、履歴書、本人の得意分野について「得意分野」を伸ばす「良いイメージ」を出す。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。
20180908	63	就業	5	5	ES、履歴書、本人の得意分野について「得意分野」を伸ばす「良いイメージ」を出す。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。
20190123	28	就業	5	2	転職をするかどうか、今後のキャリアアップは希望しているが、大学で学んだ分野から就職先を探している。自己理解のポイントを話し、ESも書き直して面接に臨むようにアドバイスをした。面接の準備も進め、面接の日までサポートした。

※現在OD

- 1...高校生
- 2...短大・専門学校
- 3...4年制大学・大学院生
- 4...卒業生(就労・社会人)
- 5...卒業生(無職)
- 6...その他

※相談内容OD

- 1...就活(ES面接など)
- 2...進路(転職・通職)
- 3...就職(企業研究)
- 4...労働相談
- 5...その他
- 6...カウンセリング